

飯田フォークフェスタ *Final* —最終回—

それぞれの青春 ～ぼくらのそばにいつも歌が～



六文銭



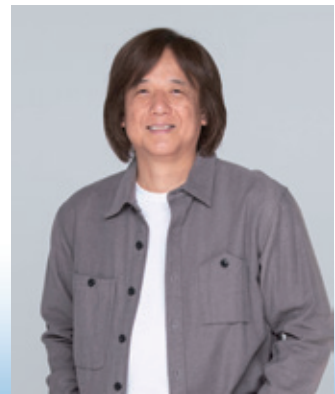
菅原 進
(ビリーバンバン)



因幡 晃



青木 まり子
(五つの赤い風船)



三浦 和人
(雅夢)

2025年 9月7日(日)

開演14:00 (開場13:30) ※終演17:00頃予定

飯田市鼎文化センターホール

全席指定

一般 5,500円
学生 1,000円(大学生以下)

チケット発売日

7月15日(火)

※発売初日は、お一人様6枚まで

プレイガイド

- 飯田文化会館
・窓口 7月15日(火) 9時～
・電話 7月15日(火) 11時～ TEL.0265-23-3552
※発売日以降は平日8:30～17:15

- 平安堂飯田店・座光寺店 7月15日(火) 10時～

*公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入後のチケットの変更、キャンセルは一切お受けできません。
*未就学児の入場はご遠慮ください。託児コーナー(無料) 予約8月29日(金)まで(定員あり・先着順)

- チケットオンライン「いいチケ」

7月15日(火) 9時～
<https://p-ticket.jp/iida>

※会員登録無料。24時間受付。座席指定可。
コンビニ決済・発券もご利用いただけます。



いいチケ

飯田フォークフェスタ *Final* —最終回—

それぞれの青春 ～ぼくらのそばにいつも歌が～



■六文銭

小室等、及川恒平、四角佳子、こむろゆいの4人によるユニット。1960年代に東京フォークの中心人物の一人だった小室等を中心に、1968年に結成される。1969年4月、中

川五郎とのカップリングアルバム「六文銭・中川五郎」でURCレコードからデビュー。1971年、上條恒彦+六文銭で演奏された「出発の歌」が、三重県の合歡の郷で行われた「ポピュラーソング・フェスティバル71」でグランプリ受賞。次いで、11月、第2回世界歌謡祭でグランプリを獲得。1972年4月、ベルウッドレーベルの第1回新譜として「キング・サーモン」のいる島」をリリース。同年解散。時を経て、2000年10月、小室等、及川恒平、四角佳子が横浜イギリス館での「及川恒平コンサート」において、28年ぶりに3人で歌ったのをきっかけに「まるで六文銭のように」とユニット名をつけ活動を始める。2007年、アルバム「はじまりはじまる」をリリース。2009年、こむろゆいを加えてユニット名を「六文銭'09」（ろくもんせん）に改名し、同年、アルバム「おとのぼ」をリリース。活動開始から50周年を迎えた2018年、11月にユニット名を「六文銭」と改め、前作から約9年ぶりとなるニューアルバム「自由」をベルウッド・レコードからリリース。

全国各地ライブツアーやフェスティバルなどに参加、ライブを中心とした活動を精力的に展開中。



■菅原 進

1969年、兄弟デュオ「ビリーバンバン」としてキングレコードから「白いブランコ」でレコードデビューし、大ヒットとなる。

続く「ミドリヌ」「れんげ草」「さよならをするために」もビックセールスを期し、第23回NHK紅白歌合戦にも出場。

フォークグループの代表的アーティストとしてコンサートを中心に活動する。

1981年には菅原進として『琥珀色の日々』（サントリー・トリスCM曲）を発表し、電通賞とカンヌ国際CF祭の金賞を受賞。

1987年から約38年間に亘り、「また君に恋してる」など麦焼酎「いいちこ」のCMソングを多数担当。2014年に大腸癌のステージ3を患うが、復活し、全国コンサートを継続。2022年には「映画ドラえもん・のび太の宇宙小戦争2021」の挿入歌「ココロありがとう」を発表。YouTube、ニコニコ動画でも活動し、「うっせえわ」のカバーは160万再生を突破し、さいたまスーパーアリーナ開催のニコニコ超パーティー 2022に出演するなど、精力的に活動している。



■因幡 晃

高校卒業後、鉾山技師として就職。ある日、仕事上の鼻歌からひとかけらのメロディと言葉が生まれた。

頭から離れないこのメロディと言葉が融合って代表曲「わかって下さい」が完成した。アマチュアでの音楽活動もない因幡にとって初めてのオリジナル作品となるこの曲で、1975年第10回ヤマハ・ポピュラーソングコンテストに出場し、優秀曲賞を受賞。また、第6回世界歌謡祭にて入賞。

翌1976年に「わかって下さい」でデビュー。以来「別涙」「思いで」「S.Y.さん」「忍冬」「都忘れ」「夕映えを待ちながら」など数々の名曲を発表。

叙情的な優しい楽曲と、それを歌い上げるボカール力は圧巻。また曲間に親しみ易いトークを交えるライブは各地で好評を博している。

2014年より杉田二郎、堀内孝雄、ばんびひろふみ、高山巖と共にスーパーユニット「ブラザーズ5」を結成し、ソロ以外も活動中。



■青木 まり子

1971年女性フォークデュオ「ジャネット」でデビュー。TV・ラジオ・コンサート等で活躍する。

解散後、資生堂春のキャンペーンCMソング「赤い花見つけた」等、数々のCMソングを歌い、弾き語りのライブ活動も始める。

1996年から2007年まで「シモンズ」の再結成メンバーとして、また2000年からは再生「五つの赤い風船」のボーカルとして活動している。

2007年から「きたやまおさむレクチャー&ミュージック〜青木まり子・きたやまおさむを歌う」に出演。2008年、ギタリスト吉川忠英と豪華客船「飛鳥II」で船上コンサートを展開し、活躍の場を広げる。

2004年からAED普及推進のためのメッセージビデオ「あなたにしか救えない大切な命〜君の瞳とともに」のテーマ曲「君の瞳」を歌い、2018年日本AED財団のAED大使に就任。普及啓発活動にも力を入れている。

現在は、ソロの弾き語りや、他のアーティストとのジョイント等、東京を中心に全国各地でライブ活動を展開中。



■三浦 和人

1980年、フォークデュオ雅夢「愛はかげろう」でデビュー。

1984年に解散後、1985年〜1998年まで13年間、FM音楽ラジオ番組「三浦和人のポップ・ナウ」のパーソナリティを生放送で週5日、13年間勤める。

その後、本格的にアーティスト活動を再開し、現在は、ソロライブを中心にジョイントコンサートやイベントにも積極的に参加。オリジナルアルバム等もコンスタントにリリースし「叙情詩人」と言われる、人の心に寄り添う音楽を発信し続けている。

最近では、昨年3月、初の4枚組全66曲のベストアルバム「雅夢&三浦和人スーパーベスト〜送り続けた手紙〜」をリリースした。

そして今年9月、デビュー45周年を迎えるにあたり、全曲書き下ろしのニューアルバム「風のひとこと」を9月16日にリリース。同時に、9/27名古屋、11/8大阪、11/16東京で「45周年記念コンサート」が開催決定。



駐車台数に限りがございます。乗り合わせ、送迎、公共交通機関のご利用にご協力をお願いします。お時間に余裕をもってご来場ください。

◎臨時駐車場 県体育館、県自治振興センター
◎JR飯田線 ※県駅から徒歩約5分

開演前	[上り] 伊那大島 12:54発	⇒	県	13:31着
	[下り] 天竜峡 13:23発	⇒	県	13:44着
終演後	[上り] 県 17:24発	⇒	天竜峡	17:46着
	[下り] 県 17:37発	⇒	伊那大島	18:11着

